

2021年度 愛知学院大学経済学部教員業績一覧

王嘉陽

< 著書 >

(共著)

Akihisa Mori (Ed.), *China's Carbon Energy Policy and Asia's Energy Transition: Carbon Leakage, Relocation, and Halos*, Routledge, December 2021.

(分担執筆部分)

Jiayang Wang and Kiyoshi Fujikawa, "Economic and environmental Impacts of power supply configuration change in China: An application of scenario input-output analysis" (Chapter 3)

< 論文 >

(共著)

Yiyi Ju, Masahiro Sugiyama, Diego Silva Herran, Jiayang Wang, Akimitsu Inoue, "An open-source tool for visualization of climate mitigation scenarios: mipplot", *Environmental Modelling & Software*, 139, 105001, May 2021.

DOI: 10.1016/j.envsoft.2021.105001

大塚雄太

< 著書・論文等 >

(単著)

「日本對於西歐近代思想與外國文學的受容—山室靜的文學，自由，人性」(第2部9章)，黃俊傑・安藤隆穂編『東亞思想交流史中的脈絡性轉換』，国立台湾大学出版センター（国立台湾大学人文社会高等研究院），2022年，189-221頁。

「クリスティアン・ガルヴェにおける農民と啓蒙」『経済学研究（愛知学院大学）』，9巻2号，2022年3月，163-183頁。

「流行論の知られざる名著—クリスティアン・ガルヴェ「流行について」」『経済研究所報（愛知学院大学）』，2号，2022年2月，98-116頁。

「(書評) 原田哲史著『19世紀前半のドイツ経済思想—ドイツ古典派，ロマン主義，フリードリヒ・リスト』」『経済学論究（関西学院大学）』，75巻2号，2021年9月，53-69頁。

葛西正裕

<著書・論文>

(共著)

「文系 AI 人材教育に対する調査研究」, 葛西正裕, 金澤小夜子, 大島典子, 末次新市, 渡邊隆俊, 『愛知学院大学経済研究所所報』第2号, 愛知学院大学経済研究所, 2022年2月, 50-78頁。

(共著)

「コロナ禍におけるリレーションシップバンキングと地域金融に関する一考察」, 近藤万峰, 内田滋, 葛西正裕, 『愛知学院大学経済研究所所報』第2号, 愛知学院大学経済研究所, 2022年2月, 79-97頁。

近藤万峰

<論文>

(単著)

「協同組織における店舗戦略の将来像—顧客の利便性維持に向けた工夫が重要—」『金融ジャーナル』第62巻, 2021年。

(共著)

「コロナ禍におけるリレーションシップバンキングと地域金融に関する一考察」『経済研究所所報』(愛知学院大学経済研究所)第2号, 2022年(内田滋, 葛西正裕)。

<その他>

「地域金融機関の取り組みは地域の創業を増やせるのか—金融機関による創業支援に対する企業の意識調査—」*RIEB Discussion Paper Series* (DP2021-J06), 2021年(家森信善, 永田邦和, 奥田真之)。

後藤俊明

<論文>

(単著)

「ヴァイマル共和制期における強制断種論争の一断面—ドイツ優生学とプロテスタント福祉(4)—」『経済学研究』(愛知学院大学)第9巻第2号, 2022年3月, 141-161頁。

佐藤希

<論文>

佐藤希, 島村靖治 (2021) 「インド農村部における女性自助組織活動と全国農村雇用保障法に関する実証分析」, 『国民経済雑誌』 (神戸大学経済経営学会), 第223巻, 第6号, 57-71頁。
Nozomi Sato, Yasuharu Shimamura and Susana Lastarria-Cornhiel (2022). "The Effects of Women's Self-Help Group Participation on Domestic Violence in Andhra Pradesh, India." *Feminist Economics*, 28(1) 29-55.

<研究ノート>

佐藤希 (2022) 「ベトナム中部における妊産婦の検診・出産時の医療施設選択行動」, 『経済研究所報』 (愛知学院大学), 第2号, 117-131頁。

<学会発表等>

(国内学会)

佐藤希 「ベトナム中部における妊産婦の検診・出産における医療施設選択行動の分析」, 第32回国際開発学会全国大会 (オンライン), 2021年11月。

(国内研究会)

佐藤希 「インド農村部における女性自助組織活動と全国農村雇用保障法に関する実証分析」, 神戸大学経済経営研究所 (RIEB) セミナー (科研基盤研究 (C) 「インドにおける内部労働市場の発達: ミクロデータとフィールド調査を利用して」 / 南アジア地域研究東京大学拠点 (TINDAS) 共催) (オンライン), 2021年9月。

関根佳恵

<論文>

Kae SEKINE (2021) Farming Systems and Operations Contributing to a Sustainable Society and Their Multi-Dimensionality: An Essay at Planning Scenarios for Japan in 2040. *The Japanese Journal of Agricultural Economics*. 23: 47-52. DOI: 10.18480/jjae.23.0_4 (Referred)

Kae SEKINE (2021) The Potential and Contradictions of Geographical Indication and Patrimonization for the Sustainability of Indigenous Communities: A Case of Cordillera Heirloom Rice in the Philippines. *Sustainability*. 13(8): 4366. DOI: 10.3390/su13084366 (Referred)

関根佳恵 (2021) 「小規模・家族農業の優位性: 新たな経営指標の構築と農政転換」 『有機農業研究』 13(2): 39-48. DOI: 10.24757/joas.14.1_7 (査読有) (日本有機農業学会学会誌論文奨励賞受賞)

Keshav Lall MAHARJAN, Kae SEKINE, Tadayoshi MASUDA (2021) Transformation towards Sustainable Agriculture, Rural Communities, and Ecosystems: Reviewing Global Trends and Local Realities Based on Interdisciplinary Approaches. 『農林業問題研究』 58(1): 27-30. DOI: 10.7310/arfe.58.27

<書籍>

冬木勝仁, 岩佐和幸, 関根佳恵共編著 (2021) 『アグリビジネスと現代社会』 筑波書房 (担当範囲: 冬木勝仁・岩佐和幸・関根佳恵「序章 アグリビジネスと現代社会」 pp.1-10, 関根佳恵「13章 スマート農業—農業関連資材産業の新展開—」 pp. 219-232, 冬木勝仁・岩佐和幸・関根佳恵「終章—食と農のオルタナティブを目指して—」 pp. 277-282)

鈴木宣弘, 蔦谷栄一, 小田切徳美, 吉田太郎, 関根佳恵他 (2021) 『どう考える? 「みどりの食料システム戦略」』 農山漁村文化協会 (担当範囲: 関根佳恵「有機公共調達をめぐる世界の動きに学ぶ—ブラジル, アメリカ, フランスの給食改革から—」 pp.95-99)

関根佳恵 (2021) 『家族農業が世界を変える—貧困・飢餓をなくす—』 (第1巻) かもがわ出版 (第24回学校図書館出版賞受賞)

関根佳恵 (2021) 『家族農業が世界を変える—環境・エネルギー問題を解決する—』 (第2巻) かもがわ出版 (第24回学校図書館出版賞受賞)

関根佳恵 (2022) 『家族農業が世界を変える—多様性ある社会をつくる—』 (第3巻) かもがわ出版 (第24回学校図書館出版賞受賞)

新山陽子編 (2022) 『改訂版 フードシステムと日本農業』 一般社団法人放送大学教育振興会 (担当範囲: 新山陽子・関根佳恵「2章 農業の展開と構造」 pp. 29-49, 清原昭子・関根佳恵「8章 食品小売業の特徴と社会的機能」 pp. 141-156, 関根佳恵「14章 食料の貿易と日本農業, 日本の食」 pp. 242-256, 新山陽子・工藤春代・関根佳恵「15章 世界の農業・食料制度と政策」 pp. 257-273)

<研究発表等>

関根佳恵 (2021) 「有機給食と公共調達をめぐる世界の潮流—EUを中心として—」 日本有機農業学会公開シンポジウム「今なぜ、有機学校給食なのか?—国内外の事例から考える—」 2021年6月27日

関根佳恵 (2021) 「EUにおける有機農業の研究・革新と普及」 有機農業研究者会議2021, 2021年8月26日

Kae SEKINE (2021) UN Decade of Family Farming and Civil Society Movements in Japan. UN Food and Agriculture Organization International Symposium on GIAHS and Family Farming, October 18, 2021

Kae SEKINE (2021) Discussions for Enabling Agroecological Transformation. 2021 the Japanese Association for Regional Agricultural and Forestry Economics International

Symposium Co-sponsored by the Japanese Society of Organic Agriculture Science, October 31, 2021.

関根佳恵 (2021) 「小規模・家族農業の可能性ーアグロエコロジカルな農業への転換をめざしてー」中部農業経済学会大会シンポジウム, 2021年11月28日

武内真美子

< 著書・論文等 >

(単著)

“Determinants of Earnings and Gender Earnings Gaps among Highly Educated Workers within Major Cities in Asian Countries”, *Asian Economic Journal*, Vol.35 No.2, pp.166-186, WILLY (Referred)

「海外勤務, 留学, 外国人とのコミュニケーション能力, 英語力が高学歴雇用者の年収に与える影響」, 『キャリアデザイン研究』, Vol.17, pp61-74, キャリアデザイン学会 (査読付)

< 学会発表等 >

(国内研究会) (単独)

「高学歴者の専攻と男女間賃金格差」社会労働研究会 (オンライン), 2021年4月

(国際学会) (単独)

“Determinants of Academic Achievement in Japanese University Students”, Oxford Education Research Symposium (Online), 2022年3月

< 社会貢献活動 >

名古屋市男女平等参画審議会委員 2021年4月～現在

名古屋市女性の活躍推進企業認定審査委員 2021年10月～現在

藤川清史

< 著書・論文等 >

(分担執筆, 共著)

Wang Jiayang and Fujikawa Kiyoshi (2021) “Economic and environmental impacts of power supply configuration change in China: an application of scenario input-output analysis,” in Mori Akihisa (ed), *China’s Carbon-Energy Policy and Asia’s Energy Transition Carbon Leakage, Relocation and Halos*, Routledge, Chapter 3, 57 – 71.

Ban Hikari and Fujikawa Kiyoshi (2021), “The economic and carbon impact of China’s outward foreign direct investment in the power sector,” in Mori Akihisa (ed), *China’s Carbon-Energy Policy and Asia’s Energy Transition Carbon Leakage, Relocation and Halos*, Routledge, Chapter 6, 129 – 151.

(論文, 共著)

伴ひかり・藤川清史 (2022) 「日本の農業分野と排出量取引制度」『神戸学院経済学論集』第53巻, 第4号, 1-29.

<研究ノート>

(共著)

サット・リド, 藤川清史 (2022) 「カンボジアにおける観光開発の可能性」, <特集>カンボジアの環境と経済に関するセミナー, 『経済研究所報』(愛知学院大学), 第2号, 160-173.

サムレト・ソワソルン, 藤川清史 (2022) 「カンボジアにおける新型コロナウイルス感染症の影響と対応」, <特集>カンボジアの環境と経済に関するセミナー, 『経済研究所報』(愛知学院大学), 第2号, 152-159.

ピンム・ルンシナリット, 藤川清史 (2022) 「カンボジアの開発金融」, <特集>カンボジアの環境と経済に関するセミナー, 『経済研究所報』(愛知学院大学), 第2号, 143-151.

藤川清史, チョウ・パニット (2022) 「ピラチェ国立公園 (カンボジア) における炭素貯留と REDD +」 <特集>カンボジアの環境と経済に関するセミナー, 『経済研究所報』(愛知学院大学), 第2号, 132-142.

藤川清史・川村匡 (2021) 「文化芸術の経済評価の試み—文化 GDP の推計—」『産業連関』, 29 (1), 39-51.

<その他>

(単著)

Fujikawa Kiyoshi (2021), "Joint Credit Mechanism (JCM) : Official development assistance in the era of decarbonization competition," ASSIA Working Paper Series, Applied Social System Institute of Asia (ASSIA), Nagoya University, 21-02, 2021, pp 1-16.

<<https://www.assia.nagoya-u.ac.jp/49d70e52cd100c86fa0469bd94463dfa7038fb55.pdf>>

(共著)

Chou Phanith and Fujikawa Kiyoshi (2021), "Carbon Storage and REDD+ in Virachey National Park," ASSIA Working Paper Series, Applied Social System Institute of Asia (ASSIA), Nagoya University, 21-03, 2021, pp.1-23.

<https://www.assia.nagoya-u.ac.jp/20210801_ASSIA%20WP%2021-03%20Chou%20and%20Fujiawa.pdf>

<学会報告等>

(共同)

Ban Hikari and Fujikawa Kiyoshi "The economic and carbon impact of China's Outward Foreign Direct Investment in the power sector," 10th Congress of Asian Association of Environmental and Resource Economics, August 20, 2021. (リモート)

下田充・渡邊隆俊・藤川清史「供給制約の産業連関分析－首都直下型地震を例にとって－」, 第15回マクロモデル研究会, 2021年9月10日。(リモート)

王嘉陽・藤川清史「中国の風力発電の最適立地」環境経済政策学会, 2021年9月26日。(リモート)

伴ひかり・藤川清史「中国の電源選択と排出量取引の有効性」環境経済政策学会, 2021年9月26日。(リモート)

叶作義・藤川清史「中国のCO₂排出変化の要因分析」環境経済政策学会, 2021年9月26日。(リモート)

下田充・渡邊隆俊・藤川清史「供給制約の産業連関分析－首都直下型地震を例にとって－」, 日本経済政策学会・中部地方大会, 2021年12月11日(リモート)

古田 学

<論文>

“Technological Diffusion through Foreign Direct Investment: A Firm-level Analysis of Indian Manufacturing Industries,” (Co-author: Azusa FUJIMORI, Takahiro Sato), *Economic and Political Weekly*, 56(39), 2021.

「貿易保護政策による賃金への影響－インド年次工業調査を用いて－」『経済研究所所報』(愛知学院大学経済研究所) 第2号, 2022年

<学会発表等>

「海外直接投資との長期取引関係による地場企業のGVCへの参入動向: インド自動車産業を例として」, 多国籍企業学会・国際ビジネス研究学会, 2022年1月

細川 潔

<著書・論文>

(単著)

「平成時代の税制－所得税の改革と税収推移－」『経済学研究』9巻1号 愛知学院大学経済学会2022年2月

(共著)

多和田眞・近藤健児編著『国際経済学の基礎「100項目」』(第5版) 創成社, 2022年3月
(担当範囲: 細川潔・近藤健児「第10章 現代の国際貿易の諸問題」(細川担当156~169頁, 174~176頁), 平岩恵里子・細川潔「第12章 世界各国の経済状況」(細川担当200~203頁, 216~223頁))

水野伸昭

<論文>

(単著)

「アジアの経済発展と国際開発金融機関－アジア開発銀行とアジアインフラ投資銀行を中心に－」『経済研究所所報』愛知学院大学経済研究所, 第2号, 2022年2月, pp.24-40。

吉村臨兵

<その他>

(単著)

「紹介と批評 櫻井純理編著『どうする日本の労働政策』, 『Int'lecowk』(国際経済労働研究所) 第76巻第11・12号, 2021年12月, pp.35-36。

渡邊隆俊

<著書・論文等>

(共著)

葛西正裕・金澤小夜子・大島典子・末次新市・渡邊隆俊「文系 AI 人材教育に対する調査研究」『経済研究所所報』(愛知学院大学経済研究所), 第2号, 2022年2月, pp.50-78. (査読なし)

<学会発表等>

下田充・渡邊隆俊・藤川清史「供給制約の産業連関分析－首都直下型地震を例にとって－」, 日本経済政策学会第54回中部地方大会 (オンライン, 2021年12月).